

報道関係各位

2015年3月5日
森ビル株式会社

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ

荒木経惟写真展「男 —アラーキーの裸ノ顔—」 ～1997年から現在までに撮影した、200人以上の男の“裸ノ顔”を全公開～

表参道ヒルズでは、4月24日(金)から5月6日(水・休)までのゴールデンウィーク期間中、本館 B3F スペース オーにて、荒木経惟写真展「男 —アラーキーの裸ノ顔—」を開催します。

日本を代表する写真家、アラーキーこと荒木経惟。月刊誌「ダ・ヴィンチ」の巻頭連載企画「アラーキーの裸ノ顔」では、第1回のビートたけしに始まり、1997年から現在に至るまで200人以上の男の“裸ノ顔”を撮影してきました。そして今回、ダ・ヴィンチ創刊20周年記念事業として、3月25日(水)に写真集を刊行するとともに、ゴールデンウィークには表参道ヒルズで展覧会を開催します。会場には、役者・作家・スポーツ選手など、下は14歳から上は92歳まで、女性はもちろん男性も惚れるいい男が勢揃い。撮り下ろしも含めた全207点に及ぶ写真作品を全公開します。会期中には、写真集や関連書籍、DVD、ポストカードなどのグッズも販売するほか、スペシャルゲストを招いてのトークイベントやサイン会も開催予定です。

荒木経惟の写真人生、ポートレート作品の集大成となる歴史的価値の高い展覧会を、ぜひご堪能ください。



1997年1月29日撮影
王 貞治



1999年11月30日撮影
及川光博



2000年8月15日撮影
五代目中村勘九郎



2013年12月17日撮影
遠藤憲一

本件に関する報道関係の方のお問合せ先

表参道ヒルズPR事務局:小村・森本・木暮

TEL 03-4574-6250 FAX 03-3265-5058

森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーションチーム:梅木

TEL 03-3497-0292 FAX 03-3497-0318

開催概要

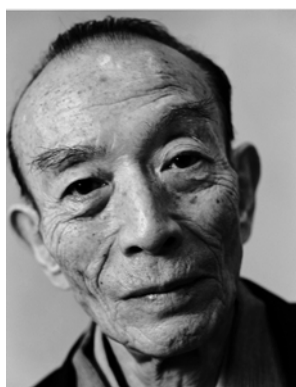
タイトル：荒木経惟写真展「男 —アラーキーの裸ノ顔—」
期 間：4月24日(金)～5月6日(水・休)
時 間：11:00～21:00 ※4月26日(日)は～20:00、5月6日(水・休)は～18:00
場 所：表参道ヒルズ 本館 B3F スペース オー
入 場 料：無料
問 合 せ：03-3497-0310(総合インフォメーション)
主 催：「アラーキーの裸ノ顔」実行委員会

〈被写体一例〉

赤塚不二夫／浅野忠信／いかりや長介／遠藤憲一／及川光博／王 貞治／桂 歌丸／堺 雅人／須賀健太／園 子温／染谷将太／五代目中村勘九郎／仲村トオル／野村萬斎／十代目坂東三津五郎／ビートたけし／魔裟斗／松田龍平／三宅一生／山田孝之 他 (五十音順・敬称略)



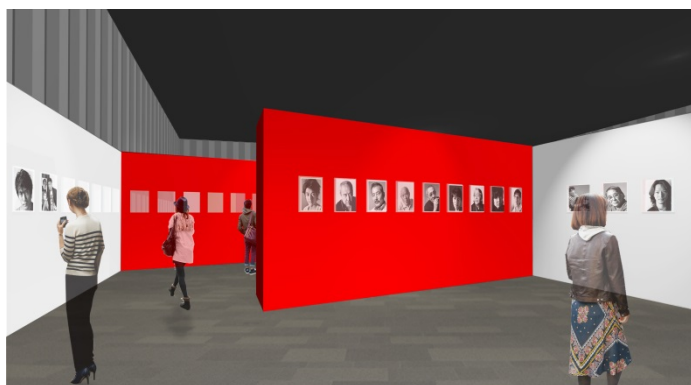
2010年5月19日撮影 仲村トオル



2012年8月20日撮影 桂 歌丸



写真集「男 —アラーキーの裸ノ顔—」
KADOKAWA メディアファクトリー
5,000円(税込)



会場イメージ

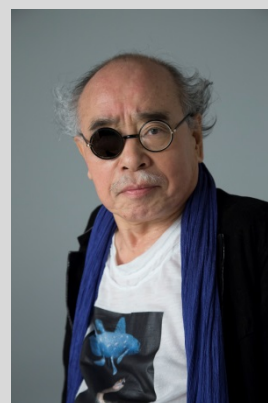


オリジナルグッズ
(写真集、ポストカード、DVD など)

プロフィール

荒木 経惟(Araki Nobuyoshi)

1940年5月25日、東京都台東区三ノ輪生まれ。1963年、千葉大学工学部写真印刷工学科を卒業後、大手広告代理店電通にカメラマンとして入社。1964年『さっちゃん』で第1回太陽賞を受賞。1971年、自らの新婚旅行を撮影した私家版『センチメンタルな旅』で写真家宣言。1972年に電通を退社。写真作家として独立する。以後、ヌード、肖像、風景、静物、ドローイングフォト等、対象ジャンルや方法論を限定することなく、既成の写真表現の文脈に収まらない作品を精力的に発表し続ける。現在、日本を代表する写真作家として、ヨーロッパ、アメリカをはじめ世界各国で高い評価を得ている。2008年、オーストリア政府よりオーストリア科学・芸術勲章受章。2011年、新潟市より第6回安吾賞受賞。2013年、毎日芸術賞特別賞受賞。著書に『さっちゃん』(新潮社)、『愛しのチロ』(平凡社)、『センチメンタルな旅・冬の旅』(新潮社)、『人妻エロス』(双葉社)、『往生写真集』(平凡社)、『道』(河出書房新社)など。



撮影 野村佐紀子

【公式 HP】 <http://www.arakinobuyoshi.com/>